

事業期間 H20 ～ H22

担当部局

公立おがた総合病院
事務室

基本施策 I D

- 1 - 2

誰もが安心できる医療体制を整える

重点施策 I D

	重 点 施 策 名
--	-----------

--	--

[illegible]

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	公立おがた総合病院
	課室名	事務室

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	市民(患者)ニーズは公共医療機関においても高度な医療水準の向上を期待しており、それに応える高度医療機器の購入は必要。				
行政の 関与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを供給できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	地域の中核医療機関として公立病院が果たすべき使命を考えると、行政の関与は今後においても必要。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	公立病院である以上、医療機器購入の実施主体は行政である。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	実績値1台は血液検査を実施する「多項目自動血球分析装置」であるが、事業実施についてはコスト意識をもって機能・性能と費用等の比較したうえで機種選定購入しており、事業経費は妥当である。また、機器導入により検査待ち時間の短縮を達成しており、迅速化、省力化により患者サービスの向上が図られているため。				
事業の 予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	医療機器の導入は患者サービスの向上に直結しており、今後も高度な医療水準向上を目指していくうえでは、予算の大幅な減額は出来ない状況にあり、医療機器の更新も考慮したうえでも現状水準を維持していく必要があるため。				
人 体 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	医療機器の購入担当としては、現在の人員は適正である。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	患者サービス向上のための新規購入、耐用年数からくる更新購入を考慮したうえで、現状水準を維持していく必要がある。				
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。			
院 長	事務長	主幹	担当者	内線 3833 E-mail @bungo-ohno.jp	